

高齢者クラブとの意見交換会 報告書



令和元年12月18日（水）品川区議会棟

議会報告会等準備会議

【開催経緯】

品川区議会では、「区民に開かれた議会」「区民に身近な議会」を目指し議会改革を進めており、平成28年度から議会報告会を開催してきた。今年度は区議会議員選挙があり、議会報告会等準備会議のメンバーも一新したことで、議会報告会をどのような形で開催すべきか議論を重ねた。その結果、今年度は大規模な議会報告会は実施せず、ターゲットを絞って区民と意見交換する場を設けることとなった。各種団体との交渉の末、今回は高齢者クラブ役員の方々との意見交換会を開催した。

【開催概要】

日 時 : 令和元年12月18日(水) 10:00~11:45

会 場 : 品川区議会棟

参加者 : 高齢者クラブ役員17名

出席議員 : 渡辺裕一、たけうち忍、大倉たかひろ、松澤和昌、石田秀男、小芝新、鈴木真澄、西村直子、湯澤一貴、あくつ広王、このの孝子、新妻さえ子、若林ひろき、安藤たい作、石田ちひろ、鈴木ひろ子、筒井ようすけ、田中さやか、吉田ゆみこ、あべ祐美子、くには雄大、高橋しんじ、西本たか子
テ ー マ : 「高齢者クラブの課題と今後の活動について」

【主なプログラム】

1. 開会あいさつ(議長 渡辺裕一)
2. 当日のスケジュール説明(議会報告会等準備会議リーダー このの孝子)
3. 議場・正副議長室・正副議長応接室見学
4. 意見交換
6つの班に分かれ高齢者クラブ役員と議員間で意見交換を行った。
5. 意見発表
各班の代表者1名による意見発表を行った。
6. 閉会あいさつ(副議長 たけうち忍)



正副議長室見学の様子



意見交換の様子

【高齢者クラブ参加者からの意見・要望のまとめ】



1. 会員について

○会員減少や新入会員ゼロなど現状について

- ・高齢者クラブに入らなくても、気の合った人同士で好きなことをやる。
- ・60～70代は仕事をしていて入会しない。
- ・町会役員の高齢者でもクラブに入らない。
- ・趣味が多様化しクラブに加入する必要性を感じない。
- ・体調不良により参加者が減少。
- ・マンションの中は、勧誘活動ができない。
- ・高齢者が増えているのに会員数は増えない。
- ・啓発しても入会しない。
- ・マンション管理組合には地元の人がない。新しいマンションの居住者の入会が課題。
- ・品川区の会員数 11,267 人、入会率 11.3%で城南 5 区の中でナンバーワン。因みに、大田区 7.9%、目黒区 6.2%、渋谷区 6.1%、世田谷 4.3%

○後継者について

- ・会長のなり手、後継者がいない。
- ・クラブで何とか後継者を探さないといけないと考えてはいるが。

○会員増加、拡大について

- ・加入対象年齢は、70 歳以上としてはどうか。
- ・クラブ会員と幼児との交流機会を作ってみてはどうか。
- ・男性会員を増強するには。
- ・若い人の参加も受け入れ、年齢関係なく声をかけてみてはどうか。
- ・入会している会員の配偶者を誘ってもらう。
- ・200 人の会員を維持する工夫が必要。
- ・マンション居住者の入会のための対策として、区の支援が必要。

2. 運営について

○課題と現状

- ・努力しているが、会の充実が難しい。
- ・お願いするだけでなく、自分たちの活動で活発にする。
- ・活動が多様化してきている。
- ・人が集まる活動は不可？
- ・女性の会長が増えてきたので、女性ならではの細かい視点で運営できる。
- ・友愛会の部長は、8人が女性。良いクラブだなと思ってもらえる。
- ・足が悪くても参加できる取組が必要ではないか。
- ・会費や人数など地域性はあるが、異なる取組が多くされている。

○工夫や対策について

- ・マンションの管理組合にクラブの会員がいると定着する。
- ・小菊栽培指導に使用するビデオを音声入りのものに作り直して欲しい。
- ・マイナスイメージよりもプラスイメージの仕事をしてはどうか（例：観光案内）
- ・老人福祉法により自主的な組織であるが、もっと重みや位置づけが必要ではないか。
- ・『福祉の増進』分かり難い。文言の見直しが必要ではないか。
- ・クラブや町会に入会するメリットが必要。
- ・走らない、負担の少ないスポーツを考えたい。
- ・イベント企画や講師紹介のアドバイスが欲しい。

○活動事例

- ・興味を感じてもらうため麻雀を実施。人が集まりクラブ発足となった。
- ・コーラスは、まとまりが良い。
- ・健康マージャン。
- ・ポッチャを検討。
- ・お茶会、体操クラブ、誕生会を実施。
- ・カラオケ、グランドゴルフ、輪投げ、手芸を実施。
- ・食事会は非常に人気がある。大皿料理にすると費用を抑えられる。5月に行うと参加が多い。
- ・サークル活動、パッチワーク、写真、絵手紙、歩こう会。
- ・コーラスに初めて男性の参加があった。
- ・男性の参加者が増えてきている。
- ・輪投げに男性が多く、盛り上がっている。

3. 集う場所や移動手段について

○課題と現状

- ・会場が町会と重なる。
- ・シルバーセンターの立地によっては集まりにくい。
- ・改築後は多世代交流施設となり使いにくい。
- ・活動する施設や場所が足りない。そのため、したい活動ができない。（例：グランドゴルフなど）
- ・都心は活用できる土地が少ない。
- ・施設によっては、しがらみにより使用できる日時が固定されてしまっている。
- ・地域センター使用申し込みは、その都度しなくてはいけない。
- ・区役所に来るのが不便。
- ・自転車道の整備の効果あり。
- ・踏切が開かない。
- ・西大井地区は、交通が不便。

○今後について

- ・区役所や区施設などへの移動手段としてコミバスを運行して欲しい。
- ・地域センターや集会室を年間予約できるようにして欲しい。
- ・北品川町会会館が無いため企画ができない。場所が欲しい。
- ・会場のルールを不公平の無いようにして欲しい。
- ・足が不自由な方へ、電動車いす・三輪電動自転車などの補助や貸し出しの検討をしてはどうか。
- ・高齢者クラブにおいて、電動車いすの練習をしてはどうか。

4. 情報発信について

- ・高齢者クラブの必要性、地域住民との交流の必要性を訴える。
- ・PRの仕方を区が支援して欲しい。
- ・ふれあい掲示板の掲示期間が短い。(現在：一週間)
- ・『高齢者』『老人』という名前が悪い。
- ・『高齢者クラブ』という名前に抵抗がある。
- ・クラブ毎にケーブルTVで紹介してはどうか。
- ・品高連の情報(ポスター)などを、マンションに伝える方法がない。
- ・マンションの掲示板に、高齢者クラブのチラシを貼らせてくれない。
- ・クラブ組織の内容を説明する。

5. 予算について

- ・区の予算措置については、人数だけでなく、特色や企画で手厚い処遇を望む。
- ・講師に支払う報酬がない。
- ・何か新しいことをやろうとすると予算が厳しい。
- ・会費が高くて入会できない人がいる。

6. 休会について

- ・7～8年休会していたが、周りのクラブからの働き掛けや支援により復活した。
- ・2年休会していたクラブが復活。会員60名
- ・2クラブ休会中だったが、町会長にお願いし復活した。
- ・八潮には、数年前に高齢者クラブが1つだけできたが現在は休会。
- ・休会にならない働きかけが必要ではないか。

7. 町会、自治会について

- ・高齢者クラブの無い町会がある。働きかけて結成を進めてみてはどうか。
- ・八潮は、自治会ごとにクラブを作るべきではないか。
- ・マンションには、管理組合の中に町会担当を置いているところがある。
- ・町会組織へのバックアップ。
- ・他町会からの参加者の扱いはどのように考えるか。
- ・マンションで見守りがいないため、高齢者が亡くなっていたのが分からなかった。

8. メリットについて

- 老後の生活を健全化。
- 周りのクラブとの交流があった。
- クラブは、町会の一組織となっていることから、災害時に支援してもらえる。
- 会員の誕生日に赤飯などを手渡し、健康状況など把握できる。
- グランドゴルフで健康になった。小走りができるようになった。
- クラブは、見守り、健康、情報共有などが良いところ。
- 高齢者クラブがある安心感。
- 外出することにより人と話をするようになる。
- クラブ活動の中で話をするにより、言葉が良くなり、前向きになった。

9. 防災関連について

- 防災訓練（スタンドパイプ）に参加すべき。
- 災害時、本人了解の上、情報をもとに必要な支援ができるようにすることが、必要ではないか。
- 要支援者の居住場所が分かるように、地図に色付けしている。
- 要支援者名簿は、町会長と防災アドバイザーが共有している。
- 要支援者の情報共有の在り方について課題がある。
- 防災アドバイザーには、名簿はあるが、町会には名簿が来ない。
- 空き家危険、対策が必要。

【高齢者クラブ参加者のアンケート結果】

1. 見学について

- 初めての見学で議会を理解できて良かった。
- 初めて議場に入ることができ、新鮮な体験となった。議員の方々が一生懸命に対応していただいたことに感謝。
- 区議会を身近に感じることもできた。
- なかなかこのような機会はない。滅多に伺えない所に入れて、大変良い機会となった。
- 木材使用の部屋が多くてビックリした。和らぎがありとても良い。
- 昔懐かしい人たちの写真があり、興味深かった。
- 素晴らしい調度品が揃い、どんなお客様でも対応できると感じた。
- 初めて議場を見て、これなら仕事がやり易いと感じた。
- トイレが狭いのが気になった。

2. 意見交換について

- 非常に有意義だった。
- 他の地域の活動が分かり、区の方針も分かった。問題は、会員増強。
- 考えてもいなかった話が聞けた。参考にしたい。

- 皆さんの話を参考に、私たちの会にも取り入れていきたい。
- とても参考になった。行政の方のお力を借りて、実現できるよう期待している。
- もうあと 15～20 分の時間が必要ではないか。
- 少人数だったので率直な意見が出たと思う。
- 高齢者クラブの現状の話が出来て良かった。
- 議員に地域のことを聞いてもらい嬉しかった。
- 議員との意見交換は初めて。非常に良かった。
- 議員が身近な存在になった。
- 初めての意見交換、結構言ってしまって反省。難しい要望もあると思うが、実現に向けてご尽力下さい。

3. その他

- 高齢者の活動の場面に何か議員との交流ができると良いのではないか。
- 定期的実施できたら良いと思う。
- 地元の問題点（例えば交通について、商店街について）なども意見交換できたらと思う。

【議員参加者のアンケート結果】

1. 見学について

○本会議場

- 議場にしたのは良かった。皆さん楽しんでた。
- 議長席など写真を撮るように全員に促せば良かった。
- 議長席に座っての記念撮影の時間があっても良かった。
- 議場では、自由に写真を撮って良いなどの案内をした方が良かった。
- 本会議場は、議長席、質問席、理事者席など、紹介した方が良かった。
- 議員数や傍聴席も案内し、傍聴についての案内もした方が良かった。

○議長室・応接室

- 応接室では、歴代議長の写真を見ただけになってしまった。
- 年配の方には知っている人もいて喜んでたが、他の場合はどうするのかと思った。
- 議長室など見学の時間は、もっと短くても良かった。
- 議長室、応接室の機能や役割等の説明口上を用意しておけば良かった。

○見学時間など

- 3か所の見学場所は、高齢者の移動距離から見ても良かった。
- 長すぎず良かった。
- 見学時間は、短時間でも要領よく伝えられるよう、ご案内内容を詰めておいた方が良かった。
- 2組にまとめた見学は、導線が混雑なくスムーズだった。

○案内

- ・誘導案内は、3Fから6Fへ来られる方が10名程いた。
- ・誘導役員として、案内終了後、議場に戻るタイミングに困った。役員の行動は、ある程度明確に決めておく方が良かった。

○その他

- ・参加者より見学したい場所のアンケートも取ると良かった。
- ・会派の部屋など見学に入れても良いのではないか。

2. 意見交換会について

○時間と人数

- ・じっくり話している班、盛り上がっている班など様々だった。盛り上がっている班はもっと時間が欲しかったのではないかと思った。
- ・人数、時間配分、ちょうど良かった。
- ・もう少し時間があっても良かった。
- ・高齢者クラブ5人に対し議員3～4人のグループは良かった。
- ・交流の場にもなり時間が足りないくらい盛り上がった。
- ・少人数で中身の濃い意見交換になったと思う。

○テーマ

- ・高齢者クラブの問題意識がストレートにテーマとして設定したのは良かった。
- ・かみ合っていたテーマで良かった。

○班分け

- ・班分けは、くじ引きではなく、事前にランダムに組んでおいても良かった。
- ・参加予定者の欠席が増えた場合などの対応を考えた方が良い。
- ・たまたま大井地区で一緒に活動する方が同じ班となり、他のクラブの意見を聞くことができなかった。
- ・当日欠席の方がいたため、議員の方が多くなってしまったグループや、くじ引きで同じ地区の方が一緒になってしまったケースがあり対策を考えてはどうか。

○場所

- ・部屋を分けたのは良かった。
- ・落ち着いた雰囲気の中でできた。
- ・会場を別々にしたため、回りを気にせず話げできた。

○付箋

- ・付箋の記入は、議員が書くことで、文章がまとまり、沢山の意見を貼ることができた。
- ・付箋を貼る方式は、発表の際、小さい文字を読むのが大変そうだったので、再考が必要。

○その他

- 進め方としてPR、工夫、課題、要望を提示したが、その通りには行かなかったが、それはそれで良かった。
- 議会側にスキルがあれば、ホワイトボードミーティングやグラフィックコーディングなどを取り入れても面白い。
- 会員が200名いるクラブの経験はさすがだった。
- 他の会長も参考になったのではないかな。
- テーマの他、おしゃべり形式で深掘した話がしたかった。

3. 発表について

○時間

- 2分としていたが、伸びてしまうのは想定内。
- 2分は難しい。
- 2分は分かりにくく長くなってしまった。時計があれば、ある程度改善されるのではないかな。
- 2分と仕切るの難しい状況ではあったがチャレンジした。5分未満で収まっているならば仕方ない範囲。
- 一人最長5分までとしてはどうか。
- 2分を超過していたが、時間設定は良かった。
- 3～4分必要。
- 高齢者が2分でまとめるのは無理があった。しかし、上手く話していた。
- もう少し時間が必要。
- 発表時間は足りなく、話し合った中身を紹介できなかった。
- 発表の時間が短いので対応を考える必要がある。
- タイムキーパーがいた方が良かった。

○発表形式

- 発表者を高齢者にしたのは良かった。
- 付箋にまとめたが、発表にはいかされなかった。今後、工夫が必要。
- 付箋をグループ化して、班で確認するのも良いのではないかな。
- 模造紙を見ながらの発表は、話が脱線せず的を得ていて良かった。
- 付箋に沢山の意見を書いたが、発表の際は全く話していなかったのは残念。

○その他

- 各グループ発表が聞けて良かった。
- 制限時間の中で埋もれてしまった意見の中に、注目すべき内容があったのではないかな。
- 広報用に参加者と議員の集合写真を撮っても良かったのではないかな。

4. 全体をとおして

○感想

- ・とても良い取組だった。
- ・とても有意義だった。
- ・お互いにとって貴重な場となった。
- ・高齢者クラブの知らない面が知ることができ収穫だった。
- ・事前準備がしっかりとされていて概ね良好だった。
- ・全体的に皆さん笑顔で楽しく進められた。
- ・クラブの会長さんのお互いの刺激になり、議員にとっては会長さんの日常活動のご苦労を知る良い機会となった。
- ・他のクラブに対しても協力していることで復活がなされ、会員も増員したクラブがあった。
- ・高齢者クラブの皆様が話すことに慣れていたからスムーズな進行ができた。
- ・区民の方から直接、声を聴くのは、双方にとって意義深い。
- ・事務局の準備等、上手く運べたことに感謝。
- ・一定の目的をもった団体とは、比較的、意見交換など行い易い。
- ・お茶の用意は良かった。

○今後

- ・実施後のフィードバックや発信は大事。
- ・単なる陳情要望の場にならないように、テーマ設定など工夫が必要。
- ・イレギュラーな事態を想定したファシリテーター力が必要か。
- ・様々なご意見など、具体的に議会で取組。
- ・意見交換の中で受けた質問に対しては、予算など含め、その場で回答できるように知識を備えておきたい。
- ・若者層や子育て層などと実施してはどうか。その際、開催日時の工夫が必要。
- ・町会の方々や障がい者団体など様々な方々と実施してはどうか。
- ・色々な方をお呼びし議会と区民の距離感が小さくなるような運営が出来ればと望む。

【高齢者クラブ参加者へのフィードバックについて】

- ・高齢者クラブ参加者からの意見・要望をまとめ、その内容について高齢者地域支援課より一定の回答をもらった。
- ・高齢者クラブの課題について、今後、議会質問などで取り上げるなど区議会の取組を盛り込んだお礼状を作成し、高齢者クラブ連合会会長に郵送した。

【予算特別委員会での質疑・回答のまとめ】

- (質疑) 高齢者クラブの男性会員の増強と活性化を要望。退職後の生きがいや趣味づくりについて、区の考えは。
- (回答) 会員の男女構成比は概ね 3 対 7。会員の増強月間の設定、連合会の中に活性化委員会を設置するなどしている。区としては多様な社会活動・機会・場所等の整備を進めている。
- (質疑) 会員が増えない、活動場所の確保が難しい、情報発信が難しいという課題について、区の認識・対策は。今後の高齢者クラブの活動支援の方向性は。
- (回答) 共通の課題認識を持っている。
会員増強月間を設定して会員確保に取り組んでいる。
活動場所はシルバーセンター、ゆうゆうプラザ等区有施設に福祉団体登録することで利用しやすくなること等案内している。
情報発信はホームページやSNSにまで手が回っていない。若手会員を確保し、ともに課題をクリアしていきたい。
- (質疑) 区民集会所について、年間を通じて予約申請できるようにするなど、もっと利用しやすくできないか。
- (回答) 区民集会所はすでに色々な利用者が活動しているため、年間予約については慎重な見極めが必要。町会と連携して町会会館を上手に利用する等の成功事例を各クラブで共有することが身近な近道。今後も有効な対策を考えていきたい。
- (質疑) 高齢者クラブの広報といえば、ホームページか広報しながわだと認識しているが、広報しながわでは特集を組んだりしているのか。ホームページについては、加入促進につながる内容に変えた方がいいのでは。
- (回答) ホームページ、広報しながわに加えて会員増強月間にふれあい掲示板の活用、広報ひんこうれんという広報紙の定期的な発行を行っている。今あるものをどのように有効活用していくかを含め、今後の広報のあり方をさぐっていきたい。
- (質疑) 電動アシスト三輪自転車の購入費補助の検討をやってはどうか。
- (回答) 運動トレーニング系の事業も様々展開しており、ご自身の足で移動していただくことをベースに推進していきたい。